

# 熊野筆の穂先の技術と欧州の製毛技術を融合させた「和洋混合水彩絵筆」の開発事業



Kumano fude

広島県西部に位置する熊野町は、江戸時代から始まった熊野筆の製造が盛ん。「筆の都」と呼ばれている。株式会社藤田画筆製作所は、熊野筆の技術を活かし、西洋画筆を製造してきた。

「最初は学童用の画筆が中心でしたが、今では絵描きさんが使うような専門的な西洋画筆を製造しています。」



代表取締役社長 藤田修司

略歴／昭和19年生まれ。平成7年株式会社藤田画筆製作所設立、代表取締役社長就任。

コンピュータグラフィックスが普及し、絵を描く道具は筆だけではなくなっています。絵画が学校の必修科目でなくなったこともあり、熊野でも筆を作る業者自体の数が減っています。私は2代目ですが熊野の筆づくりの技術は決して絶やしてはいけなと思います。次世代につなげるために何か始めないと」

## 高品質と低価格の両方を実現

「当社の作る筆の最大の特徴は、熊野の書筆の技術を転用していること。ルーツである西洋の画筆は材料の良さで良いものを作る感じですが、熊野には『この毛が筆に使えるのかな?』というような雑毛でも技術によって組み立てていける技があ

ります。熊野の技術に西洋の技術をマッチさせた結果、良いものができた。今回開発した「和洋混合水彩絵筆」は、みなさんに喜ばれる製品に仕上げる自信がありますよ」

今回の筆にはコリンスキーという原料(イタチの毛)を使っている。毛質にも相当こだわっているそうだ。

「高品質な毛を材料に、熊野筆の技術で繊細な穂先を、さらに西欧の製毛技術で弾力のコシを実現しています。和と洋の良いところの従来筆とはひと味違う書き味を楽しんでもらえるはず」

今までイタチの毛を使った画筆は高価で、上級者が使うイメージが強かった。しかし今回は素材の仕入れから見直し、求めやすい価格で品質の高い画筆を生産するメドもついたという。初心者や中級者、学生にも気軽に使ってもらえる本格的な製品

の製造が可能になったのも特筆すべき点だろう。

## 攻めの姿勢で、地域の活性化を図る

創業65年を迎え、新たに自社ブランドを立ち上げた。一大転換期と位置づけ、攻めの開発、販売を展開している。

「これまでは問屋のブランドで売っていましたが、今度は当社の名前です。熊野の筆をいきなり別な地域へ持っていったら知名度もない。しかし国の認定事業商品なのでアピールしやすくなって助かります。実際『国の認定事業商品なの?』と小売店からの反応も良いですし、『そう言えば熊野は筆の産地だよ』と話も広がる。地域資源プログラムに認定されたメ

リットを感じます」

事業認定された画筆のブランド名は「Hokusai」。

「海外の有名な筆には海外の画家の名前がつく商品が多い。日本の画家でよく外国の方に知られているのは誰だろうと考えた時にこのネーミングを思いつきました。いずれは海外へ、という思いを込めています」

## 「Hokusai」を世界へ広めるのが目標

「自社ブランドの確立は、これややらなければ産地の活性化は難しいと

思ったから」と藤田社長は語る。「自分で作って自分で売るのは大変だと思うが『このままでは熊野筆の未来はない』それぐらいの意気込みで臨んでいます。何よりもユーザーの声を大切にしたい。ユーザーの意見からニーズを探り、それをもとに当社の技術でユーザーの欲しい画筆を実現していく。ユーザーからの声は技術の向上につながるものですから、ますます大切にしたいですね」

## 事業概要

欧州製絵筆の製毛技術と、「熊野筆」の穂先づくりの技術を活かした、今までにない、使い心地が良く、かつ、比較的安価に購入できる「和洋混合水彩絵筆」を開発・製造する。これまでは価格が高いため、水彩画用のイタチ毛の絵筆は上級者にしか手の届かない商品であったが、買いやすい価格で、かつ、品質的にも優れた商品を開発し、消費者に近い流通での販売を目指すものとする。

この開発商品は、画材分野だけに留まらず、小さなクラック(ひび割れ)補修が必要な楽器などの修理や、陶器やガラス細工の絵付けのデザイン等、職業道具としての用途もある。

## 売れる商品づくり

競争力 熊野の技術を使った繊細な穂先と、欧州の製毛技術によるコシを持ち、今までにない書き味を実現するとともに、自社製造によるコスト競争力があり、競合商品と比較して、機能面・価格面の両方で競争力を有している。

市場性 絵筆としてのイタチ筆は高級品であり、現在は、上級者中心に利用されている。本事業の取り組みで、高品質な製品を手頃な価格で供給できれば、中級者層にも消費が拡がり、絵筆市場の拡大につながると考えている。

販路 現在も取引のある大手画材店などへの営業とともに、絵画教室や専門学校への紹介、ホームページによる販路拡大を行う。

## 地域資源における関係事業者との連携

今後、事業の拡大により、商品の製造が大幅に増加した場合には、熊野内の他事業者へ、一部の作業を製造委託することも視野に、連携を行いたいと考えている。

## Information



### 株式会社 藤田画筆製作所

所在地 ● 広島県安芸郡熊野町柿迫 17  
TEL ● 082-854-7035  
設立 ● 平成7年10月  
資本金 ● 1,000万円  
従業員数 ● 10人

● 会社事業内容  
西洋画筆の製造・販売。ヨーロッパ産コリンスキーの「Hokusai」シリーズ画筆は、含みや耐久性に優れた毛筆で、水彩画にとどまらず、伝統工芸の制作やネイルアートなど、新たな分野も視野に入れて展開中。

### 【活用する資源】 熊野筆

【地域】  
広島県安芸郡熊野町  
【認定日】  
平成19年12月7日

【認定行政庁】  
経済産業省